

Trace Acoustic® Transit A

アコースティック楽器プリアンプ



取扱説明書
日本語マニュアル

TRACE ACOUSTIC® TRANSIT™-A プリアンプ

Trace Elliot Transit-Aアコースティックギター・プリアンプ・ペダルをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
Transit-Aは、あらゆるアコースティックギター・プレイヤーのために開発されたプロフェッショナル・グレードのプリアンプです。
本機は、複雑な操作を排除し、シンプルかつ素早い操作性を実現しました。
そして、プロフェッショナルなアコースティックギター・プレイヤーにふさわしい機能を備えています。
アコースティックギター・プレイヤーが演奏時に求める主なエフェクター4種類(ブースト、コーラス、ディレイ、リバーブ)を搭載し、
内蔵されているコンプレッション、ノッチフィルター、プリシェイプ、そしてシンプルな3バンドEQは、
操作性に優れたサウンド・メイキングを可能にし、素晴らしいトーンを生み出します。
バックライト・コントロールパネルは、クロマチック・チューナーとして使用することができます。正確にチューニングをすることができます。
XLRバランス・アウトプット(Pre/Post選択可)、ドライ・アウトプット、そしてヘッドフォン・アウトプットなど、
練習からライブまで、プレイヤーが求める様々なシーンに対応します。
そして、Transit-Aは、エフェクターボードやバッグにも省スペースで収まるように設計され、どこへでも簡単に持ち運ぶことができます。
コントロールセクションは全てシンプルなレイアウトになっており、簡単かつ直感的に微調整することが可能です。
本機を最大限に活用していただくためにも、ご使用される前に、この取扱説明書をお読みください。

特徴:

- ・バックライト付きコントロール
- ・クロマチック・チューナー内蔵
- ・インプット・インピーダンス増幅用ピエゾ・ボタン
- ・ブースト・スイッチ(ブースト量調整可能)
- ・コーラス(1ノブ調整)
- ・ディレイ(レベル/フィードバック/タップ・テンポ)
- ・Trace Elliot特有のEQカーブを再現したプリ・シェイプ・スイッチ
- ・リバーブ(1ノブ調整)
- ・フェイズ切り替えスイッチ
- ・3バンドEQ
- ・ノッチ・フィルター
- ・インプット・ゲイン/アウトプット・レベルのコントロール
- ・ステレオ・アウトプット/ドライ・アウトプット
- ・プリ/ポスト XLRバランス出力(グランド・リフト・スイッチ付)
- ・Auxインプット
- ・ヘッドフォン・アウトプット
- ・本体寸法：312mm W x 114mm D x 58.4mm H
- ・重量：1.18 kg (本体のみ) / 1.45 kg (本体+キャリングバッグ+電源アダプター)

注意: 説明書に記載してある注意や警告文をお読み下さい。

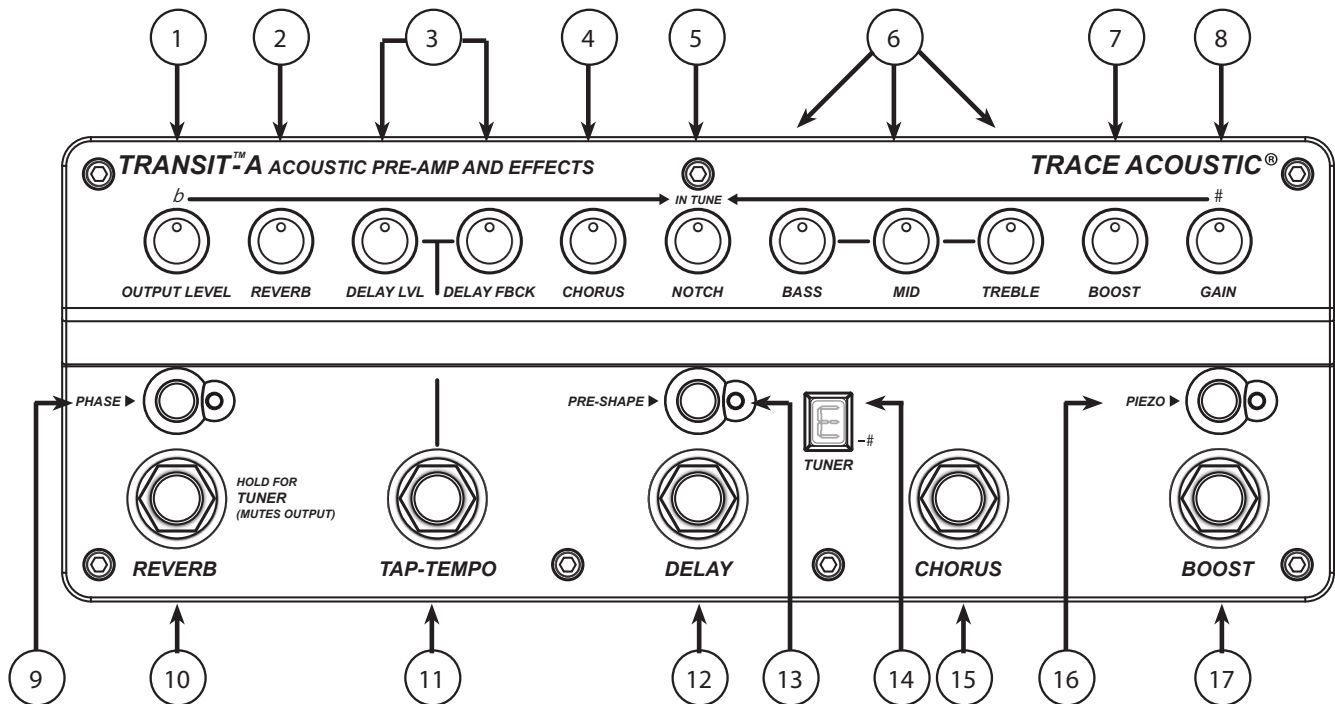
これらの警告は、Trace Elliot製品を安全にお使い頂くにあたり非常に重要です。

*統合型コンプレッサー

Transit-Aに搭載されている大きな特徴の一つとして、スタジオクオリティの統合型コンプレッサーがあります。
これは、アコースティックな楽器に、最適なアタックとリリースタイムを生み出すよう特別に設計された、
優れたソフトニー(※1)コンプレッサーです。
コンプを適度を使用することにより、弾いた音をより良く響かせ、アンサンブルの中でも際立たせることができます。
サウンドエンジニアがレコーディング時、アコースティックギターにコンプレッサーを使用するのも、
このような理由があるからです。しかし、本機では、コンプレッサーを使いこなす
サウンドエンジニアの知識や経験がなくても、ユーザーはGAINノブを調整するだけで、その効果を得ることが出来ます。

※1 コンプレッサーの機能において、入力レベルに対して出力レベルが、
スレッシュホールドの設定値で折れ線につながるのではなく、曲線を描いて繋がることを意味します。

トップパネル



(1)アウツプット・レベル

プリアンプの出力レベルをコントロールします。XLRダイレクト・アウトには影響しません。つまり、ミキシング・コンソールに送るレベルを変えることなく、ステージ上でTransit-Aと接続している機材(アンプなど)へ送る音量を調整することができます。

(2)リバーブ

リバーブのエフェクト・レベルを調整します。

(3)ディレイ・レベルとフィードバック

DELAY LVL - ディレイ(ウェット)音の音量を調整します。

DELAY FBCK - ディレイ音が鳴る回数(フィードバック量)を調整します。

(4)コーラス

コーラスのエフェクト・レベルを調整します。

(5)NOTCH

フィードバックを抑えるためのデジタル・ノッチ・フィルター機能。ノッチの範囲はOFF、または30Hz-330Hzです。

小音量でフィードバックの心配がない環境においては、つまみを一番左に回し切った状態に設定してください。

この状態では、ノッチ機能は働かず、音に影響することはありません。

反対に、アンプに近い位置で演奏したり、大きな音量で演奏する場合、

アコースティックギターのボディや低音弦が振動し、フィードバックを起こすことがあります。

その場合、このノッチ・フィルターのノブを、フィードバックが収まる位置まで徐々に上げてください。

このノブを回すことにより、ノッチ・フィルター機能が働く周波数帯とフィードバックを起こしている周波数が重なり、

解消することができます。また、ノッチ・フィルター機能は、周波数帯に対しピンポイントで働くため、

アコースティックギターの音への変化を最小限に抑えることができます。

アンプからの位置や使用する楽器、立って弾くか座って弾くなど、演奏する環境によってノッチ・フィルターの設定は異なります。

リハーサルやサウンドチェックの際に、どの周波数帯にノッチ・フィルター機能を合わせておくか、

予め確認しておくとう良いでしょう。

(6)ロー、ミッド、ハイ

3バンドEQ。各つまみを +/- 15dBのブーストまたはカットすることができます。

12時の位置で +/- 0dBとなります。

(7)ブースト

ブースト量を調整します。

ブーストした際にコンプレッション感をより強くするために、このノブはプリ・コンプレッションとしても機能します。

(8)ゲイン

インプット・レベルを調整します。

レベルが高くなるほどコンプレッション感が強くなります。

コンプレッション機能が働くと、ノブの周りのリング状のLEDが緑色から黄色に変わります。

また、クリッピングが発生すると赤色に変わります。

プレイヤーがどの程度コンプレッションを必要とするかによって設定は異なりますが、

もし赤色のLEDが点滅した場合、赤くならないところまでこのノブを下げてください。

もし最小限のコンプレッションに抑えてナチュラルなサウンドを求める場合、主となる奏法(アルペジオやストローク)時にLEDが緑色に点滅するところまでこのノブを回し、強くストロークして最も音量が大きくなる時に、

時々黄色に点灯する程度が理想です。

従って、最も大きな音量で弾いたときにコンプレッションが僅かに働くように設定することができれば、

ナチュラルなダイナミック・レンジがしっかりと確保されていることとなります。

これにより、適切に入力された音は最適なSN比でプリアンプ・セクションへ入力されます。

しかし、もしアンサンブルの中においてアコースティックギターの音の存在感をより出して、

音をクリアに聞かせようとする場合、LEDがもう少し頻繁に黄色く点滅する程度までゲイン・ノブを上げてください。

スレッシュホールドの値以上に音が押し出され、より多くのコンプレッション機能が働き、

ダイナミックレンジをよりタイトにコントロールすることができます。

ゲインの設定はプレイヤーの好みにもよりますが、上手く使いこなすことにより、

アンサンブルの中で力まずに自分の音を聞かせることができるため、

音をよりスムーズに押し出し、フレーズによっては今までよりも楽に弾くことができます。

(9)フェイズ・ボタン

低音域のフィードバック抑制、フェイズ切り替えスイッチ。

(10)リバーブ/ミュート/チューナー・スイッチ

点灯時=リバーブ・オン/消灯時=リバーブ・オフ/点滅時=チューナー・モード、出力ミュート。

チューナーモードに切り替える場合は、このスイッチを長押ししてください。

チューニング終了後は、このボタンをもう一度押すか、他の同型のボタンを押すと通常モードに切り替わります。

ミュート(チューニング)時、出力はミュートされます。

(11)タップ・テンポ

2回以上このスイッチを押すと、そのテンポに合わせた4分音符のディレイが設定されます。

ノブの周りのリング状LEDが指定した速度で点滅します。最長ディレイ・タイムは1秒です。

(12)ディレイ・スイッチ

ディレイ・エフェクトのオン/オフを切り替えます。

ディレイのフィードバック音が鳴り続けている間にスイッチをオフにしても、フィードバックは鳴り続けます。

Tweak モード:

以下の方法で、ディレイ機能をオフにするのと同時に、フィードバックも止めるTweakモードに切り替えることができます。

・2秒間ブーストスイッチを押し続けます(その後も押し続けてください)。

・タップ・テンポ・スイッチを押して、Tweakモードのオン/オフを切り替えます。

※デフォルトではオンになっています。

※タップ・テンポ・スイッチ 点灯時/TweakモードON

※タップ・テンポ・スイッチ 未点灯時/TweakモードOFF

(13)プリ・シェイプ・ボタン

低音域と高音域をブーストし、中音域の周波数をカットすることにより、独特なサウンドを得ることができます。

ピックアップによっては、よりナチュラルな音に近づきます。

(14)チューナー・ディスプレイ

このディスプレイは、(10)ミュート/チューナー・スイッチを長押しし、モードを切り替えた際、有効になります。

弾いている音が表示され、上のノブのLEDが点灯してフラットかシャープかを表します。

中央にある赤色のLEDが単独で光る時は、チューニングが合っていることを表しています。

(15)コーラス・スイッチ

コーラス・エフェクトのオン/オフを切り替えます。

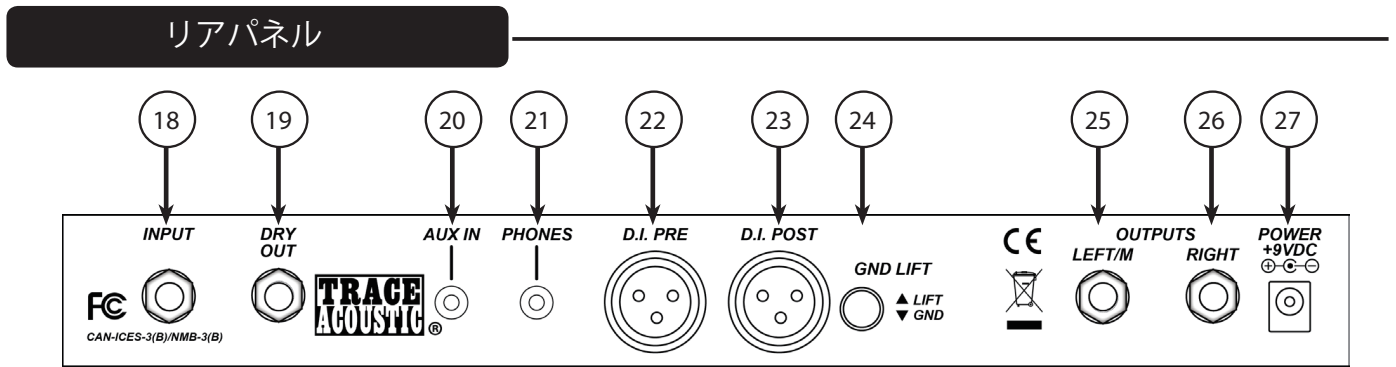
(16)ピエゾ・ボタン

インプット回路のゲインとインプット・インピーダンスを増幅させます。

一般的に、プリアンプ機能を持たないピエゾ・ピックアップを搭載したアコースティックギターに対して使われますが、アクティブのアコースティックギターに対してゲインを増幅(10dB)させる用途としても、使用することができます。

(17)ブーストスイッチ

ブースト・ノブの設定に応じて入力されたゲインを(最大10dB)増幅します。



(18)インプット・ジャック

アコースティックギター本体からのケーブルを接続します。

(19)ドライ・アウト

他の機器と本機を接続する際に使用し、インプット・ジャックから入力されたアコースティックギターのインピーダンスを低くして出力します。

なお、チューナーをONにした状態でも、弾いた音はミュートされずに出力されます。別途、使用したいチューナーがある場合、このジャックと接続することができます。

(20)AUXインプット

音源を再生する外部機器と接続する際に使用します。

ここから入力された信号は、STEREO出力、D.I. POST出力、およびPHONES出力から確認することができます。

(21)ヘッドフォン・アウトプット

イヤホンやヘッドフォン用のアンプアウトジャックです。

ここからは、入力されたギターの音と(20)AUXインプットから入力された音を確認することができます。

(22)D.I. PRE EQ XLRアウトプット

Transit-A1は、D.I.アウトプットの前にトーン・コントロールを行うか、後で行うかを選択することができます。

このXLRアウトプットは、ライブでPAのミキシング・コンソールに直接信号を送るために使用します。

この場合、プリアンプ・コントロールのいずれかを変更したとしても、出力される音に影響はないため、ミキシングコンソールで独立したサウンドメイキングが可能になります。

また、(1)アウトプット・レベルのコントロールは、ここから出力されるレベルに影響しません。

(23)DI POST EQ XLRアウトプット

POST EQの設定は、プリアンプをライブで外部のパワーアンプに接続・録音する場合に役立ちます。

演奏する際、手で設定したサウンドをそのままミキシング・コンソールに送り、オーディエンスに聴かせたい場合は、こちらのXLRアウトプットを使用します。

また、(1)アウトプット・レベルのコントロールは、ここから出力されるレベルに影響しません。

(24)グランド・リフト・スイッチ

このスイッチは、本機と外部機器と接続した際に、グランド・ループより発生するハム・ノイズを取り除くのに使用します。

(25)レフト/モノラインアウトプット

アンバランスアウト、ステレオ出力の際、左側の音出力されます。

モノラルアウトを使用する際は、こちらのアウトプットを使用してください。

(26)ライトラインアウトプット

アンバランスアウト、ステレオ出力の際、右側の音出力されます。

(27)DCインプット・ソケット

付属の9VDC電源を接続するために使用します。ソケットのセンターピンの極性はセンターマイナスです。

必ず同梱されたTrace Elliot®の電源を使用してください。

交換部品 #000908180

以下のノミナル測定は、特別な表記がない限り、コントロールは全て12時にて実施

定格入力レベル:

NORMAL = 0.00 dBV
PIEZO = 0.00 dBV

入力インピーダンス:

NORMAL = 110k Ohms
PIEZO = >10M Ohms

ノミナルDRY OUTレベル = 0.00 dBV

DRY OUT インピーダンス = 150 Ohms

ノミナル RIGHT / M および RIGHT出力レベル = 2.21 dBV (0 dBu)
ノミナル LEFT / M および RIGHT出力インピーダンス = 150 Ohms

ノミナル D.I. PRE レベル = -6.02dBV
ノミナル D.I. POST レベル = -2.21 dBV (0 dBu)

EQUALISATION:

BASS = +/- 15 dB @ 100 Hz
MID = +/- 15 dB @ 600 Hz
TREBLE = +/- 15 dB @ 4.00 kHz

AUXIN レベル:

ノミナル = 1.78 dBV (+4 dBu)
AUX IN input インピーダンス = 10k Ohms

PHONES 出力レベル:

最小負荷インピーダンス = 4 Ohms
最小負荷時の最大出力 = 500 mW (rms)

NOTCH= フィードバック制御のための30Hzから330Hzまでのノッチフィルタ変数

BOOST = 0~10dBの音量ブースト

PRE-SHAPE = Trace Elliot特有のEQカーブ

電源 (付属) : 9V DC (センターマイナス) @ 1A.

寸法(ペダルのみ): 312mm W x 114mm D x 58.4mm H
重量: 1.18 kg (ペダルのみ), 1.45 kg (ペダル+バック+電源)

仕様は予告なしに変更されることがあります。



Ippinkan Corporation
Musical Instruments Division

株式会社 逸品館

〒223-0052 神奈川県横浜市港北区綱島東6-8-20

Tel : 045-633-7530 Fax : 045-633-7531

E-mail : ippinkan.mi@otoiawase.jp

Web : <http://peavey.jp/>